

寺を開く、人と出会う

しゃらりん

37

2022/6

南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう

みんなに 原直いがかけられている

教区慶讃法要テーマ・ 教区基本テーマが決定

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・
立教開宗八百年慶讃法要基本計画策
定委員会において、教区の慶讃法要
をお勤めするにあたっての基本方針
を策定する中、「慶讃法要テーマに
ついての小委員会」が設置され、教
区慶讃テーマが決定されました。こ
のテーマは同時に教区基本テーマで
もあります。

真宗門徒であるかどうかに関わら
ず、また世代を問わず、誰でもがわ
かる言葉であらわしたいという思い
のもと、住職・坊守・門徒が共に語
り合い、時間をかけて協議された結
果、本山の慶讃テーマをメインテー
マとして、大阪独自のサブテーマを
追加して、教区慶讃テーマが誕生し
ました。

テーマ趣旨文

大阪教区慶讃テーマについて、真
宗門徒であるかどうかに関わらず、
また世代を問わず、誰もがわかる言
葉であらわしたいという思いのもと
話しあいました。その結果、本山の
慶讃テーマに、大阪教区独自の「み
んなに願いがかけられている」とい
う言葉を加えて、テーマといたしま
した。

願い

テーマを読んだ人にとってこの
「願い」という言葉は、例えば親が
子にかける「願い」であるとか、世
間がわたしに強いる「願い」など、
一般的な解釈をされる場合も多いと
思われます。そういう「願い」が重

荷になったり、抑圧を生むものとし
て否定的に働くということも考えら
れます。しかし、あえてそのように
広く理解されることを受け入れたい
のです。そしてそれでも、「願い」
という誰もが使う言葉を深め、いの
ちの根底で響きあう、すべての人に
通じる「願い」を感じとってもらい
たいと思います。テーマを読んだ人
が思うさまざまな「願い」が、如来
の本願に繋がっていることを表現し
ていくことが、大切な課題となるの
ではないでしょうか。

すべての人と共に

また最初の呼びかけの言葉を「み
んな」といたしました。この言葉を
選んだのは、「すべての人と共に」
ということを強調したいがため
です。情報が洪水のように溢れかえる
中、逆に個人が孤独・孤立をますま
す深めているのが現代社会です。し
かしその中で苦悩するすべての人々
に、等しくはたらいてくださるもの
が確かにある。個々の違いをそのま
ま認めあいながら、それでも共に輝
いていけるのだという希望を、「み
んな」という言葉に託しました。

南無阿彌陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていく

みんなに
願いが
かけられている

●インタビュー

テーマ決定の 経緯と願い

このたびの『しやらりん』は、テーマについて、いろいろな人のさまざまな意見を聞き、このテーマが私たちに何を語りかけているのかを主題に構成しました。

私たちが、これからこのテーマを通して、どんな教化活動ができるのか、そんなことを考える第一歩になればと思います。

「慶讃法要テーマについての小委員会」では多くの委員の方によって協議されましたが、その中から代表して、澤田見主査、そして坊守さんから寺本智子委員、また門徒さんから谷殿茂明委員をお招きして、それぞれテーマの決まった経緯や、このテーマに対する思いや意見をインタビューさせていただきました。

(聞き手・廣瀬 俊)

さわだ
澤田 けん
(第12組・清澤寺住職)

しやらりん ● 今回決まりました慶讃法要テーマが、同時に教区基本テーマになるということですが、このメインテーマ「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう」サブテーマ「みんなに願いがかけられている」が決まった経緯を教えてください。

澤田主査 ● まずはこのご本山のテーマ「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう」についてある程度ディスカッションしたり、ご本山から出たパンフレットや本なんかを読みあわせながら勉強しました。そのご本山のテーマをメインにして、サブに大阪独自のもの



を付けるのか、あるいは本山のテーマをなしにして、大阪独自のものだけにするかと、まあいろいろ考えたんですけど、委員みんなで、自由に持ち寄って投票で決めようということになりました。それで何度か投票を繰り返して、一番票を集めたこのテーマになったわけです。

その原型は、みんなでテーマを持ち寄った時より前に、寺本さんが出された案なんです。その案の時は、「誕生、みんなに願いがかけられている」だったんですよ。

しゃらりん ● メインテーマが「南無阿弥陀仏 人とうまれた意味をたずねていこう」ですが、このご本山のテーマをメインにすることについてはどうでしたか。

澤田主査 ● まあ提案のところで本山のテーマがメインだったので、委員全体としては自然とそのサブを決めるという風になりました。けど、提案されたテーマには本山テーマなしのものもあったし、大阪独自のテーマはやめて本山のテーマだけで行こうという意見もあったんです。一方で、本山のテーマはちょっと難

しいのではないかという意見もあり、そういう意味で、前々回の「バラバラでいっしょ」はわかりやすく、よかつたね、という話にもなりました。そこでインパクトのある言葉で、しかも子どもでもわかるようなテーマがよいのではないかという話になり、「みんなに願いがかけられている」というわかりやすい言葉が選ばれたと思います。

本山のテーマは「人と生まれたことの意味をたずねていこう」ってこちら側が探さなくてはならないように、だけど、そのことに応えるように、「みんなに願いがかけられている」ことに気づきなさいって言っているように、何か自然と呼応するメインとサブになったようです。

しゃらりん ● これからの広報活動はどんなふうに考えておられますか。

澤田主査 ● ポスターやリーフレットはもちろんですが、絵本を作っているかどうかという意見もありました。具体的なことは話しあっていますが、テーマを主題にした絵本です。また、ショートムービーを作

成したらどうかという意見もありました。

寺本智子 (第25組・願正寺坊主)

しゃらりん ● 最初に出されたテーマ案「誕生、みんなに願いがかけられている」は、どういう思いがあつて出されたのでしょうか。

寺本委員 ● これはほんとにね、言うとし訳ないんですけど、先に資料を沢山いただいたんですよ。ほんとに難しかったんです。読んだんですけど入ってなくて、頭痛がしたので、これはアカンと思って住職に助けを求めたんです。そしたらいくつか出してきてくれたんです。けど沢山あったんで、家の子供たちに聞いたら「誕生、みんなに願いがかけられている」がいいっていうことで、「なんでこれがよいと思う」って聞くと「願いつていうとどうしても仏さまを思うけど、このテーマは仏さまのことはちょっと置いといたとしても、とてもわかりやすいんじゃないかなと思った。それと、みんな

ていうところもいいんじゃないか」という答えが返ってきたので、出さしていただいたんです。

最初の「誕生」については、住職は前の親鸞さんの誕生800年のテーマ「生まれた意義と生きる喜びを見つけよう」を引き継いで、それをもっとわかりやすく表現したって言っていました。昨年テーマについて考えていた頃、ちょうど虐待の事件とかのニュースが結構あったんです。だから大切な「いのち」っていうか、親も子供が生まれた時に持っていたものが、どんどん大変な生活の中で見失ってゆくということもあったんだろうなって。もともと最初の感動とかに立ち返ってとかいうこともあった。誕生した意味っていうか、それと親鸞さんの誕生と掛けたんだと思います。

しゃらりん ● この「みんなに願いがかけられている」が、これから慶讃法要や教区の活動を通してどんなふうに広がって行くかが楽しみです。

寺本委員 ● 実は今日ね、門徒さんがお墓参りに来られて、このテーマを見せて聞いてみたんです。そうし

たら、「願いをかけられている」は、そうじゃなくて「願いをかけている」だと思ってました」って言われました。私たちがお寺にお参りしたりするのは、お寺さんを通じて、またご先祖を通じて、自分の願いを叶えてもらうためにしているって思われてたみたいです。ああ反対だっと思って、ですけど、このテーマがとても優しいので、門徒さんに話す時、話しやすいです。だから、このテーマのことを、いろんな人の感覚でもっと聞いてみたいと思いました。

谷殿茂明

（第17組・念通寺門徒）

しやらりん ● 「みんなに願いがかけられている」という寺本さんの案に、谷殿さんが複数の案として提案されたそうですね。

谷殿委員 ● みなさんもいろいろな案を出されて、サブテーマはないにしようという意見も確かにありました。そんな中でも「みんなに願いがかけられている」って言うのは、は

じめに聞いた時からいいなあって思っていました。

それで「みんなに願いがかけられている」の「みんなに」を、「わたしに」「あなたに」「だれにもが」そして、語尾を変えて、「かけられています」と5種類を考えました。「わたし」「あなた」「みんな」はそれぞれに向きや広さが異なります。「みんなに」と「だれもが」も似ているがインパクトが違う。どの方向の、どの広さの、どの強さの言葉が現代の人には響くのかを私からの提案としました。

しやらりん ● 「みんなに」も「願いがかけられている」もとてもわかりやすい言葉ですが、やっぱり若い人へのアプローチもあるのでしょうか。

谷殿委員 ● 委員会に資料として出したんですが、「みんなに願いがかけられている」をよいと思ったのは、「願いがかけられている」という言葉は、生きていくことに意味を見出せない人に、新しい視点・新しい希望を与えるのではないかと思ったからなんです。「生きることの意味」

をいつも自分の周辺、自分の内側に探し続けていて、それが見つけられない人に、「自分に願いをかけている自分以外のもの」がいるんだという、まったく逆方向の視点をもってほしいと思ったからなんです。

自分に願いをかけるもの、それがもう亡くなった人であろうと、まだ出会わぬ誰か何かであろうと、隠れた自分自身であろうと、また阿弥陀仏であろうと……。

ただし、かける側の都合でかけ

る「願いや期待」には拒否感があります。「かけられた願い」と言った時にそれを連想する人もいるでしょう。そうではなく、自分の生命が本当に息づき輝くことを願ってくれる誰かがいるということ、そういう願いがかけられてあることは、我々が生きることを支え、励まし、勇気づけると思っただけです。

しやらりん ● 今日はみなさまありがとうございました。



教区テーマに感じたいこと



ふじその 藤園 恵 (72)

ある日の仏教テレホン相談でのことです。「恥ずかしいですが」と弱々しい声で話し始められました。四十代の男の方で、子どもの頃に受けた嫌がらせ、中学校での仲間はずれ、友人が出来ないこと、体調が悪く今は無職であることなど、四十分近く「そうですか」と聞くばかりでした。終わってからおうかと思ったとき、「何宗の方ですか」と聞かれました。「真宗大谷派ですよ」と答えると「僕は子どもの頃にお婆さんに連れられて、よくお寺へ行きました。今でも少し覚えています」と言って「きみよーむりよー」と始められました。私も暫く声を合わせました。続いて『恩徳讃』も歌われました。



ますたけ こ た 樹谷 胡太 (8)

「有り難うございました。また、電話していいですか」という声は少し弾んでいたように聞こえました。

お婆あちゃんの家にはミシンがたくさんあって、いつもミシンのカタカタという音が聞こえます。お婆あちゃんは着なくなったふくをカバンにしたり、きものをスカートにしたりと、ちがうものにリメイクをするしごとをしています。古いものをあたらしいものにへんしんさせるお婆あちゃんはすごいし、かっこいいです。ぼくのお気に入りのズボンがやぶれた時もおおしてくれました。大切にしていたふくが、またきれるようになってぼくはとてもうれ



こまつ み づき 小松 美月 (15)

しかったです。大むかしの人がまいにち大切につかっていた、青やこん色のふとんのぬのがお婆あちゃんはとくに好きです。むかしのぬのはじょうぶだし、やわらかくなっているように思います。今度はようふくにしてまただれかに大切に使うてほしいとお婆あちゃんと思っています。

いま私は音楽高校に通っています。音高受験が具体的になってからは、毎日毎日「練習しなさい」と親に言われました。私には「練習してほしい」という願いがかけられています。この願いはとてもしんどいです。演奏が評価の対象なので練習が必要



やす ま と も こ 安間 朋子 (40)

な事はわかっています。けど練習は嫌いです。練習しても良い結果が出るわけでもありません。辛くて泣くこともあります。こんな時に思い出すのは中学生の時まで師事していた先生の言葉です。「人と比べるのではなく、自分が本当に満足できる音を奏でてほしい」。

周りの評価や、上手な子たちと比べて練習が嫌になっても、「自分が本当に満足できる音を奏でてほしい」という先生からの願いがあります。この言葉があるから音楽に向き合っているのだと思います。

我が子へ。
一昨年の秋、長男が産まれてもうすぐ2才になります。多少の怪我はありますが、すくすくと成長している姿をみて、よくここまで無事に成長してくれたと安堵しつつ、この先も健やかに成長してくれまうように願います。

もちろん、この子の母親として願望もたくさんありますが、この先、親の思い通りにならないことの方が多いだろうと想像します。

本人にとつても、どうしてもうまくいかないときがくるはずです。

そういった時には、誰もみんなそれぞれに、誰かから願いがかけられているのだと想像できるようなひとになって欲しいと思います。

もし、それを忘れてしまうようなときがあつても、誰もがみんなそれぞれに、誰かから願われて生きているということを思い出して生きていつて欲しいと願います。



いながきこうだい
稲垣皓大 (21)

みんなに願いがかけられている。私はこの言葉を聞いてみんなが私に願いをかけているという解釈とともに、いくつか疑問に感じたことがある。

まず一つ目は、みんなと言うのは誰のことなのか、知り合いみんな

のかそれとも全世界の人々も含めてのみんななのか、みんなの定義が人それぞれ違うと思う。私にとつてのみんなは、友達、家族、恋人など私の人生に関わってくる人のことを指しているが、その私に関わっているみんなに関わっている人達も「みんな」のうちに入ると思うので「みんな」というのはこの地球の人間たちのことを言うと思う。

そして願いがかけられているその「願い」とはなんなのか、私たち人間は、生きることには必死で、生きるためにご飯も食べるし、休息もする。生きることが願いだとすれば、私が、みんなにとつての生きるために必要な存在ということになる。

私がこの「みんなに願いがかけられている」という言葉を見て感じたことは、人間一人では生きていけないということである。今私が生きていけているのは、みんなのおかげであり、私のおかげでもある。もしこの惑星に私一人だけしか存在しないとするなら、一週間も耐えられずに死ぬことであろう、つまり人は支え支えられ成り立つ生命体なのだと思う。



ふじばやしようこ
藤林容子 (63)

孫の誕生には、自分から娘を経て命のバトンが確かに繋がった、という感慨深いものがあつた。本能のまに泣くばかりの赤ん坊だったのが、そのうち自我が芽生え、人間らしさをどんどん膨らませて成長し、社会を歩き始めている。四歳になった彼が、ビデオ通話の画面の向こうで、幼稚園で覚えたばかりの歌を歌う。

いろんなぐうぜんがかさなつてここにこうしてあなたと
いっしょにいられることが
ただとてもうれしい

そりゃいろんなヤツがいるけど
なんだかんだ言つても
気に入ってる

ラララ

ね おじいちゃんになつても
ね おばあちゃんになつても
ずっと ずっと

いっしょにあつたかく
つきあつていたいね ね ね
(『ね』 高橋はゆみ)
そう、これからさまざまな人との縁を生きていく中で、自分の存在の奇跡と尊さとともに、そのままで共に歩んでくれる人と世界があることを確かめ続けてほしい、また共に歩もうとする人であつてほしいと願いながら、無邪気に歌う笑顔を見つめる。



はな だ ひかり
花田光莉 (8)

わたしにかけられているねがいは、びようきや、けががなく、元気であわせに生活することだと思ひます。わたしは、ともだちといもうとみんながしあわせにくらせたらうれいす。それと、おとうさんとおかあさん、ばあばとおそらのじいじもけんこうでいてくれたらとてもうれいす。せんそうがなくて、せかいのひとがみんななかよくくらしていたらとてもうれいす。わたしは、人にやさしくすること、

おもいやりのあるみんながすごしやすいまちをつくりたいです。



やま お た つ ま ろ
山雄竜磨 (57)

「願い」と聞くと、やはり「本願」という言葉を思います。それは、阿弥陀如来がまだ法蔵菩薩であられた時、全ての人々を救うために五劫という想像を超えた時間を費やし誓われた四十八の願いです。端的には「誰をも救う、我が名を呼べ」すなわち「ただ念仏」という言葉に集約されるのでしょうか。まさしくテーマ冒頭の南無阿弥陀仏と呼応します。

そして、この「願い」は「みんな」にかけられています、そう、私にも。でも念仏してもお腹はすくし、私の思いが特別に叶うこともなさそうです。しかし、だからこそ、私の前を人として生まれ、人生をかけて念仏に生きられた宗祖親鸞聖人を訪ねずにはいけないのでしょうか。なるほど私の大切なテーマです。

わたしの願いって なんだろう？

あの人の願いって なんだろう？

わたしはどんな願いを かけられているのだろうか？

願いに気づけて ころころふるえる時も

かけられた願いの重さに 悩む日も

わたしが生まれてきたこと

それだけは ほんとうだ

そう わたしは願われて生きている

わたしも あなたも

たいせつなともだちも 見知らぬあの人も

みんなに 願いが かけられている

発行日：2022年 6月 30日

発行所：真宗大谷派大阪教務所
大阪市中央区久太郎町 4-1-11
TEL06-6251-4720

発行人：禿 信敬

編集：大阪教区教化委員会
広報・出版部

<http://www.icho.gr.jp/>

